

【競技専門部用】

## 令和2年度県高等学校新人体育大会等の開催における 感染拡大予防チェックリスト

- 競技専門部は、各競技の特性を勘案して、感染防止のため自らが実施すべき事項や参加する生徒や役員が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、適切な場所（受付や会場入口等）に掲示すること。
- 各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- 競技会場において、競技中やウォーミングアップ中を除いてマスクを着用させるとともに手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底するように指導すること。
- 会場出入口等には、アルコール等の手指消毒剤を用意し、会場への出入りや試合の前後等に手指の消毒を行わせること。必要に応じて検温を行う。
- 手洗い場には、石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意し、手洗いやうがいを適宜行わせること。
- 参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、イス等）や試合毎の選手の入れ替え時にベンチなど、こまめに消毒を行うこと。
- 参加者には、マイタオルを準備させ、タオルの共用をしないように徹底させること。
- 屋内競技においては、会場内の換気（窓やドアを常時開放）を徹底する。常時開放ができない場合は一定時間ごとの一斉換気を実施すること。
- 更衣室、休憩・待機スペースについては、広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者数を制限する等の措置を講じること。
- 更衣室等は、換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気を配慮すること。
- 参加者等が受付や会場への出入りの際に混雑が予想される場合は、距離をにおいて（できるだけ2mを目安に（最低1m））並べるように目印の設置等を行うこと。  
また、時間差を設けたり、入れ替え制としたりするなどの工夫をすること。
- 受付など人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- 大会に参加する学校や観戦する保護者等に、大会の前後のミーティングや会場周辺においても、三つの密を避けさせること。
- 参加者には、競技の種類に関わらず、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（少なくとも2m）を空けること。  
強度が高い競技の場合は呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。
- 握手、ハイタッチ、肩を組むなどの競技以外での身体接触を控えさせ、ミーティング等も短時間で行い、密にならないよう指導すること。
- 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底させること。
- 会場等で急に風邪症状の生徒が出た場合は、部活動顧問が競技専門部に報告するとともに、保護者及び管理職に連絡して帰宅させる。その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させること。